

### エースのボールはエースで返せ

このような格言のような言葉は、私が学生の頃、コーチが何気なく言っていた言葉でした。確かに、ゲームにおいて、エースを打とうとすると、狭い場所、或いはライン際を狙います。ということは、相手にとっては、コートの外やコーナーに追いやられますから、その場所から見る相手コートは打つ角度も大きく、逆にエースも狙い易いのです。

プロのゲームを見ていますと、エースの応酬です。コートの端から端へといかに技術、体力を磨いているか、本当に見応えがあります。時には、エースを狙いにくい場所も打ちます。駆け引きもすごいです！

私達の場合、ギリギリを狙うのが怖くて、なかなか冒険が出来ません。どうしてもお互いミスによる得点ばかりになることが多いです。

ゲームですから、ミスによる得点も大切です。が、上級者になるほど凡ミスは少なくなります。自分から狙うのはまだ・・・と思ったら、相手がエースを狙って来るのを待ってみませんか？ 皆さん、1回だけ、頑張っ、て返球しようとしてみませんか？ うまく追いつけたら、「あれ、相手コートってこんな広かったかな？」と思えるかもしれません。

自分より、強いと勝手に思っている相手がエースを狙っているとします。でも、それだけであきらめていませんか？

1度だけでいいのです。間に合っただけで、また返球するだけで相手は動揺します。もし、返球がうまくいったらなおさらです。このようなことから、駆け引き、心の状態を私達は学んでいきます。

人生も同じです。無難に、冒険を避けていては、成長はできません。自分から仕掛けることはしなくても、仕掛けられたら、しっかり対応しなくては相手も認められません。

プロのようにエースの応酬はできなくても、取ってやるぞ！という姿勢を見せるだけで、流れは変わります。「またどうせ、ダメだ」と思うのと、「だめでも努力はする。」というのはまるで違います。

テニスを楽しむというのはこんな面白さもあります。続けること、あきらめないこと、何にでも通じるのではないのでしょうか。



### お知らせ

募集中



### びわこ選手権予選

日時	12月 9日 (金)
	予備日12月16日 (金)
場所	県営彦根コート

### 燦々カップ

日時	'17年1月24日 (火)
場所	野洲河川コート

詳しくは募集要綱を見てください

### びわこ選手権

日時	'17年3月10日 (金)
場所	長浜バイオ大学ドーム